

講義名	臨床心理学			授業形態	
担当教員	岩崎 久志	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
			ナンバリング・コード	CLP283	

主題と概要

近年、様々な社会現象と関連して「こころ」の問題に対する関心が高まっており、臨床心理学の応用分野も拡大してきている。臨床心理学の知識は、単にヘルスケアの基礎としてだけでなく、広くヒューマンサービス領域で仕事をする場合にも不可欠と思われるが、必ずしも正確に理解されていないのが現状のようである。本講では、臨床心理学の歴史や対象、方法、そして具体的な技術等について学ぶことを主題とする。

到達目標

臨床心理学の歴史や対象、方法、そして具体的な技術等について学ぶことを通して、対人援助者に求められる基本的な援助技術とその姿勢を身につけることができる。

提出課題

授業の中で指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の提出や小テストを実施した直後の授業において、講評や特徴的な記述内容等の紹介を行う。それに引き続いて、解説や質疑応答を実施する。

評価の基準

定期試験（50％）、授業中に課す小レポート（30％）、授業への積極的参加度（20％）を総合的に評価する。課題や小レポートの内容等を踏まえて総合的に判断する（予定）。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、看護・医療・福祉さらに教育といった広義の対人援助に関心を持つ人の受講を期待する。教科書に沿って進めていくため、毎回携行すること。また、心理学の基礎に関する授業をすでに履修済みであることが望ましい。

教科書

『対人援助に活かすカウンセリング・チーム支援、多職種連携に必要なコミュニケーション技術』	岩崎久志	晃洋書房	2640	9784771033382
--	------	------	------	---------------

参考図書

なし。

その他

講義内あるいは事前に紹介する。

授業計画

- 臨床心理学とは
予習内容：シラバスを熟読し、臨床心理学やカウンセリングに対する自身のイメージを言葉にまとめ、講義に出席すること(90分)
復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(150分)
- 臨床心理学の歴史
予習内容：前回授業にて配布した講義資料に目を通し、臨床心理学の歴史において自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
- 対人援助に活かす臨床心理学
予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
- 臨床心理学と援助関係
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第1章を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 対人援助に活かすカウンセリングの第2章を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 主要理論（精神分析）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第3章第1節を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 主要理論（行動療法）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第3章第2節を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 主要理論（認知療法）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第3章第3節を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- その他の療法（認知行動療法など）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第3章第4節を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 援助の方法（ストレス・コーピングを中心に）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第4章を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 援助の方法（コミュニケーション技術）
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第5章～第6章を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- チーム支援とコミュニケーション技術
予習内容：テキスト「対人援助に活かすカウンセリング」の第7章を熟読し、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、テキスト等を参照しながら理解を深めること(120分)
- 心理アセスメントの基礎
予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
- 臨床心理学の理論
予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)
- まとめ
予習内容：テキストや本授業にて配布した講義資料、そして講義ノートにあらためて目を通し、自分が最も興味を持った内容、そして疑問に思ったことなどをまとめ、講義に出席すること(120分)
復習内容：授業の全体を振り返り、臨床心理学やそれに基づく対人援助の課題について整理し、今後の人生にどのように活かしていけるか、あらためて熟考すること(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。
コミュニケーション能力と、消費者と援助を求めらる人の心理と行動の知識を有し、ビジネス場面と援助場面で心理学を応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、説明のあと質問をしたりコメントを求める。そのため、レスポンスを使って意見を述べてもらうことがある。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
臨床心理士としての心理臨床現場における支援経験に基づき、具体的な実践における活用方法や事例の紹介を行う。

備考

授業の開始時までに、教科書を手直し、毎回手元に準備しておくこと。